

新
米
作

無料公演

一月二日 土曜日

一部 十一時

二部 十三時半

三部 十六時

於 観世能楽堂

GINZA SIX



一部 10:00 開場 11:00 開演 11:45 終了予定

素謡 神歌

翁 山階彌右衛門 地謡 関根 知孝
千歳 清水 義也 武田 友志
坂口 貴信
坂井 音隆

仕舞

老松 武田 尚浩 地謡 藤波 重彦
東北 津田 和忠 坂口 貴信
武田 文志
新江 和人

能 祝言之式 高砂

シテ 下平 克宏 後見 藤波 重彦
ワキ 舘田 善博 坂井 音晴
地謡 浅見 重好
笛 小野寺 竜一 岡庭 祥大
小鼓 鶯澤 洋太郎 武田 友志
大鼓 大倉 慶乃助 清水 義也
太鼓 金春惣右衛門 武田 文志
佐川 勝貴
新江 和人
木月 章行

二部 12:45 開場 13:30 開演 14:20 終了予定

仕舞

羽衣 坂口 貴信 地謡 上田 公威
角 幸二郎
坂井 音隆
武田 宗典

能楽の解説と体験

清水 義也

狂言 宝の槌

シテ 山本泰太郎
アド 山本 則秀
アド 山本 則重

三部 15:15 開場 16:00 開演 16:45 終了予定

仕舞

屋島 角 幸二郎 地謡 大松 洋一
木原 康之
金子 聡哉
田口 亮二

能・狂言ワークショップ

武田 宗典
山本 則重

半能 土蜘蛛

シテ 野村 昌司 後見 上田 公威
ワキ 福王 和幸 坂井 音雅
地謡 松木 千俊
藤波 重孝
笛 熊本俊太郎 北浪 貴裕
小鼓 飯田 清一 木月 宣行
大鼓 佃 良太郎 武田 宗典
太鼓 林 雄一郎 小檜山浩二
高梨 万里
武田 祥照

江戸城謡初式「謡初」について

観世宗家謡初の歴史は古く足利将軍時代に始まったとされているが、徳川家に於いては『東照神君(徳川家康公)により天正二年正月二日遠州浜松城にて始める。』と記録が残る。以来明治維新まで江戸城本丸大広間にて正月三日に将軍家、御三家並びに諸大名列席の御前にて、時の観世大夫が「四海波」(高砂の一節)を謡い、続いて観世大夫・宝生大夫・金剛大夫・金春大夫・喜多大夫(宝生、金剛、金春は輪番)が舞囃子「老松」「東北」「高砂」の順に勤めた。当時は幕府の式楽(国家指定芸能)であり、謡初は幕府にとり新年の重要な儀式であったと同時に、観世宗家においても「謡初」は重要な勤めであった。明治維新後も観世宗家を中心に大切な行事として元旦に行われている。

ご入場について

- 各公演ともご入場には整理券が必要です。 ●各公演、完全入れ替え制。
- 全ての時間帯の整理券**を1月2日(土)9:30より1階三原通り側エントランス前(ローソン横)にて配布いたします。
- お一人様1公演1回限り、定員に達し次第配布終了いたします。 ●定員は密を避ける為、約半数の座席数を設定しております。
- 席確保の行列による密を避ける為、整理券は全て指定席です。**
- お連れ様と隣接する席等、座席のご希望は受けかねますのでご了承ください。**
- 3歳未満のお子様のご入場はご遠慮ください。
- 1月2日(土)は、全館の出入口に制限を設ける場合がございます。上記整理券配布場所へは、地上からお越しください。

お客様へのお願い

- ご入場の際は、マスクの着用をお願いいたします。マスクを着用されない方のご入場はお断りさせていただきます。
- 体温が37.5℃以上のお客様、体調の悪いお客様については、ご入場をお断りさせていただきます。 ●検温・消毒のご協力をお願い致します。

主催：GINZA SIX リテールマネジメント株式会社 協力：一般社団法人観世会
お問合せ先：GINZA SIX 総合インフォメーション Tel. 03-6891-3390
(受付時間10:30-20:30 ※年末年始は、GINZA SIX ショップの営業時間に準じます。)

二十五世観世左近記念 観世能楽堂

東京都中央区銀座 6-10-1 GINZA SIX 地下3階

- 銀座駅 / 東京メトロ銀座線・日比谷線・丸の内線
- 東銀座駅 / 東京メトロ日比谷線・都営浅草線 A1出口より徒歩3分
《車でお越しのお客様》GINZA SIX 内に併設の駐車場がございます。

神歌

かみうた

能・狂言とは異なる様式を伝え、むしろ祈祷、儀式的の要素が強い。翁・千歳・三番三(叟)の所役が天下泰平、国土安穩、五穀豊饒を祈り舞う翁。神歌は翁を謡のみで上演する。

高砂

たかさご

世阿弥作。祝言の能として舞われることが多い。この能のなかに能の代名詞のようになった「高砂や、この浦舟に帆をあげて」という謡がある。高砂の浦から船出した神職が住吉につくと、住吉明神が出現して御代を寿ぐ神舞を舞う。

宝の槌

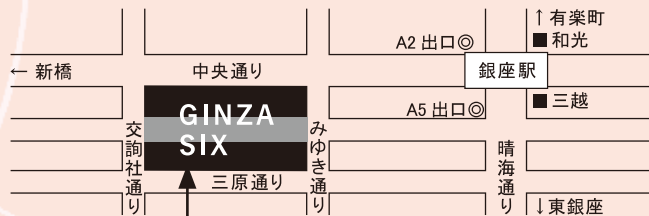
たからのつち

宝を買うために都に遣わされた太郎冠者は、男(すっぱ)から太鼓の撥を打出の小槌と称して売りつけられる。主人の前で教えられた呪文を唱え、馬を打ち出そうとするが出てこない。窮した太郎冠者は・・・。

土蜘蛛

つちぐも

源頼光の命を受けて、独武者とその配下の者たちが、葛城山へと向かう。するとそこには大きな塚があり、中に蜘蛛の化け物がいた。糸を投げかけてくる蜘蛛に独武者たちは応戦し、見事に退治して都へと帰った。



※整理券配布場所
※観世能楽堂(地下3階)へは三原通り側エントランスが便利です。